

2021年度 授業評価アンケート報告書

関西学院大学経営戦略研究科

本報告書の概要

本報告書は、関西学院大学経営戦略研究科において2021年度に開講された授業についての学生及び教員による評価アンケート結果をまとめたものである。2021年度は新型コロナウイルスの感染再拡大により、前年度に引き続きオンラインで授業の提供を行うこととなった。大半の科目は「フルオンライン型」と呼ばれる同時双方向型オンライン授業で実施され、授業評価も継続してオンラインで行われることとなった。

授業評価アンケートを実施した授業科目は、2021年度に開講された341講義である。2021年度の授業評価アンケート調査実施対象授業科目の履修登録者数は4,402人(延べ人数、以下同じ)で、実際にアンケート調査を回答した者は2,790人であり、アンケート調査の回答率は63.3%であった。回答率がやや低下しているため次年度以降は回答期間を延ばし、リマインドを随時送る事ができるように期間を設定する。

学生による評価アンケートは、設問1から設問9が「教員の授業内容と方法」について、設問10と設問11が「学生自身の取り組み」について、設問12から設問14が「授業の満足度」についての質問となっており、いずれの設問も5段階評価で回答することとなっている。

今回の学生によるアンケート回答結果からは、経営戦略研究科の学生の授業に対する満足度に関する評価は概ね高い水準を維持していることがわかる。設問13の「この授業は全般的に満足のいくものでしたか。」のスコアは、通年で4.58、春学期が4.57、秋学期が4.59であった。設問の中で最も高いスコアだったのは、設問3の「教員は、担当科目の授業を行うのに十分な専門知識を持っていましたか。」で、2021年度も通年で4.84と引き続き高い水準を保っている。つまり、担当教員が授業を行うための専門知識に関して、学生から高く評価されていると考えられる。

他方、以前から継続して見られることであるが、学生自身の取り組みについての問いである設問10の「この授業を受けるに当たって十分な予習や復習を行いましたか。」および設問11の「この授業を受けるに当たって自分から文献を探すなどの努力をしましたか。」のスコアは、教員の授業内容や方法、授業の満足度についての設問のスコア(設問1~9、設問12~14)に比較して低い状況が続いている。授業外での課題設定を充実させる工夫が必要となろう。

経営戦略研究科所属教員による担当科目の自己評価については、各専攻の特徴を踏まえてコア、ベーシック、アドバンスト、課題研究の4つの科目群に分けて考察した。

まず、企業経営戦略コースでは、教員は概ね理論と実践のバランスに力を入れており、グループディスカッション等のアクティブラーニングの導入や実務家をゲストスピーカーとして積極的に活用する等の特徴がみられた。総じて、「理論と実務の橋渡し」、つまり授業で学んだ内容を受講生個々人が実務で応用できるようになることを意識して授業を構成している、という記述が多かった。

コア科目群では、基本的な理論・フレームワークを習得させることに力点が置かれ、また、その理論やフレームワークを履修生個々人のビジネスに合わせて応用できる能力の形成を重視していることがうかがえた。ベーシック科目群では、「基礎的な知識を体系立てる」など基礎的な概念や理論への理解を深化させ、それらを体系化できる能力形成に力点を置く記述が多く見られた。アドバンスト科目群では、発展的な科目という性質から、高い分析力を要求する科目も見られた。課題研究科目群の「課題研究基礎」では課題研究論文の進め方を理解させること、「課題研究」では研究内容の充実とスムーズな進め方が挙げられており、本研究科の意図する内容となっていることが確認できた。

「力を入れた点」と「実施して良かった点」は同じ回答内容となるものが多いが、2019年度から紙調査からWeb上での調査に変わり、自由記述回答への記述量が大幅に改善されているため、これらの設問への回答の相違点についての分析が今後は進んでいくものと考えられる。

国際経営コースでは、教員の取り組みと自己評価、それに対する学生の評価の間に明確な関係が見られなかった点が問題となっている。その原因は明確ではないが、質問項目の変更や教員の取り組みに関して個別に検討する必要があると思われる。

会計専門職専攻では、例年細かな達成度合いについて数量的な把握を行っており、詳述は本文を参照されたい。その中でも学生の予備知識についての不足が指摘されており、そのための対応策が必要とされるだろう。

1. 授業評価の目的

大学・大学院において第三者評価が義務づけられ、専門職大学院においては5年に1回の第三者による認証評価を受けることが求められている。大学・大学院に対する第三者評価制度の導入は、自己点検・評価とともに教

育研究水準の継続的な向上を目的としたものである。また、経営戦略研究科は、教員の資質維持向上の方策のひとつとして、「授業内容及び方法の改善を図るための組織的な研修等の実施」に取り組んでいる。

本研究科では、授業内容および授業方法の改善を図るため、原則として各クォーターの7週目(2021年度はオンライン化により8週目に実施)に、学生による授業に関するアンケートと教員の担当科目自己評価を実施することとしている。授業評価の目的は、本研究科学生の実態や現状、学生の授業に対する認識・反応などをアンケートから探り、その結果を分析することによって、教育の現場に反映させる基礎資料を作成し、ビジネススクールおよびアカウンティングスクールの教育の質的向上を図るとともに、ビジネススクールおよびアカウンティングスクール固有の教学上の諸課題を把握し、解明することにある。ここで注目したいのは、この学生アンケートと並んで、授業担当者自身の授業についての自己評価を実施していることである。各教員は、学生の授業評価の結果を見ない段階で授業を振り返ってオンラインでアンケートの記入を行っている。このため、学生アンケートの集計結果が各教員にフィードバックされた際に、学生の評価と教員自身が作成した評価を対照することで「より良い授業へ」のヒントが得られる仕組みとなっていると考えている。オンラインでの授業評価の実施は教員にとっても回答しやすくなっており、自由回答欄の記述が充実するなど、実施状況は改善されたと判断している。

2. 本報告書の構成と作成主体

本報告書は、経営戦略研究科において2021年度に開講した授業についての評価アンケート結果をまとめたものである。本報告書の構成は、2021年度授業評価アンケート結果概要・分析、授業評価アンケート実施科目一覧、授業評価アンケートフォーム、授業別評定平均値一覧、集計結果表(全体・履修人数・専攻・コース・科目別)、教員の担当科目自己評価表およびグループ・インタビュー調査結果からなっている。

授業評価に関する調査の企画、調査票の作成、および集計結果についての分析と本報告書の執筆については、本研究科教授会のもとに設置された「経営戦略研究科内部質保証委員会」のメンバーを中心として行われた。

調査の実施の方法等についての詳細は、以下の「調査実施方法及び期間等」のとおりである。今回の調査では、ほぼすべての授業科目および学生からの回答が得られた。アンケート実施に当たって、貴重な授業時間を割いていただいた各教員に感謝申し上げます。また、実際に回答を寄せていただいた学生諸君に深く謝意を表す。

3. 調査実施方法及び期間等

授業内容については、春学期(第1クォーター、第2クォーター、夏季集中)・秋学期(秋集中、第3クォーター、第4クォーター、冬季集中)の授業終了時に受講生による授業評価を実施している。本報告の対象となる授業評価アンケートの実施方法や実施期間等については、以下のとおりである。

(1) 実施対象授業科目について

2021年度に開講されたすべての授業科目を対象に授業評価アンケートを実施した。複数クラス開講分を含む実施数は、341講義(春学期170講義、秋学期171講義)である。その内訳は、経営戦略専攻が208講義(企業経営戦略139コース講義、および国際経営コース69講義)、会計専門職専攻が133講義であった。

(2) 回答者、回答率等について

2021年度の授業評価アンケート調査実施対象授業科目の履修登録者数は4,402人(延べ人数、以下同じ)で、そのうち、春学期が2,207人、秋学期が2,195人であった。また、実際にアンケート調査を回答した者は2,790人(春学期1,425人、秋学期1,365人)であり、アンケート調査の回答率は63.3%(春学期64.6%、秋学期62.2%)であった。各専攻別の内訳は次のとおりである。

経営戦略専攻の授業科目の履修登録者数は3,197人(企業経営戦略コース2,547人および国際経営コース650人)で、そのうち、春学期は1,597人(企業経営戦略コース1,255人および国際経営コース342人)、秋学期は1,600人(企業経営戦略コース1,292人および国際経営コース308人)であった。アンケート調査の回答者数については、2,108人(企業経営戦略コース1,732人および国際経営コース376人)であった。そのうち、春学期は1,088人(企業経営戦略コース859人および国際経営コース229人)、秋学期は1,020人(企業経営戦略コース873人および国際経営コース147人)であった。回答率は65.9%(企業経営戦略コース68.0%および国際経営コース57.8%)である。そのうち、春学期は68.1%(企業経営戦略コース68.4%および国際経営コース67.0%)、秋学期は63.8%(企業経営戦略コース67.6%および国際経営コース47.7%)であった。

また、会計専門職専攻の授業科目の履修登録者数は1205人(春学期610人、秋学期595人)で、アンケート調査の回答者数は682人(春学期337人、秋学期345人)あり、その回答率は56.6%(春学期55.2%、秋学期58.0%)であった。

(3) 実施期間について

授業評価は、春学期、秋学期の授業終了時に実施してきた。2021年度の授業評価アンケートの実施期間だが、クォーター開講科目については、原則として下記期間(授業終了後の8週目)にオンラインで実施した。また、集中講義開講科目については、下記期間中、最終授業時にオンラインで実施した。

第1クォーター開講科目	： 2021年 6月 2日(水) ～ 6月 9日(水)
第2クォーター開講科目	： 2021年 7月 25日(土) ～ 7月 31日(金)
夏季集中講義期間開講科目	： 2021年 8月 6日(木) ～ 8月 14日(金)
第3クォーター開講科目	： 2021年 10月 27日(水) ～ 11月 10日(火)
第4クォーター開講科目	： 2022年 1月 13日(水) ～ 1月 20日(水)
冬季集中講義開講科目	： 2022年 2月 2日(火) ～ 3月 3日(水)

(4) アンケートの実施について

授業評価アンケートは、次の手順で実施した。

- ①「授業に関するアンケート」は、上記期間前に回答フォームのURLを全受講者宛にメールにて送付。
- ②受講者は上記の実施期間中にオンラインで回答。
- ③学生による授業評価である「授業に関するアンケート」は、質問項目数15で最高ポイントを5とした5段階評価である。
- ④受講者の自由な回答を促進するために、授業担当者は、当該アンケートそのものは閲覧せず、後日事務室より送付の統計データを閲覧する。
- ⑤「教員の担当科目自己評価表」については、事前に経営戦略研究科事務室より電子メールにて回答用フォームのURLが配布され、該当科目の成績報告書提出締切日までにオンライン上で回答。
- ⑥「教員の担当科目自己評価表」は、選択形式の9つの設問と自由記述形式の3つの設問からなっている。

(5) 集計

2021年度の授業評価アンケートについては、各授業科目・クラスごとに集計を行った。この「授業評価アンケート集計結果」は、各授業クラスの履修登録者数、回答者数(学年別、所属専攻別、出身学部別の回答者数)、各設問の有効回答数、有効回答数の平均値および専攻平均値が示される。このうち、各設問の有効回答数の平均値と専攻平均値については、グラフによって視覚的にも明示している。

授業評価アンケートには、自由記述に関する設問が3問ある(「この授業で良かったところを具体的に書いてください」、「この授業で変えてほしいところがあれば、具体的に書いてください」および「この授業に関して気づいたことがあれば書いてください」)。学生による授業評価アンケート実施にあたっての基本的スタンスとして踏襲してきたように、この自由記述の回答内容については公表対象とせず、授業内容および方法の改善のための資料と資する目的から、当該授業担当者だけに配付している。

4. 経営戦略専攻・企業経営戦略コース

A. 学生による授業評価アンケート

(1) 概観

以下では、2021年度の授業評価アンケートの結果を、全科目群、コア科目群、ベーシック科目群、アドバンス科目群ごとに、同じ調査票が使用されている2009年度以降の結果と比較して分析していく。表1から表4は、全科目群、コア科目群、ベーシック科目群、アドバンス科目群ごとに、回答の平均値(小数点第三位で四捨五入)を、春学期、秋学期、通年別に示したものである(年度の一番下にある「平均」は2009年度から2021年度の数字を平均したものである)。さらに今年度からは、オンライン授業を評価するための設問(設問16「この授業はオンラインで受講することに問題はなかった」、設問17「教員はオンラインでの授業に習熟していた」)を追加した。

2021年度の全科目群(表1)の評価であるが、前年(2020年度)対比および全期間対比で、春学期、秋学期、通年で14問中全ての質問について上昇しており、また新たなオンライン授業についての設問についても4.54、4.51(通年)と高い水準となっており、コロナ禍に伴うフルオンライン講義そのものの効果、そして教員側のオンライン講義の実施についての熟達の効果によるものと推察される。

表1:全科目群(回答の平均値)
春学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.51	4.58	4.67	4.31	4.35	4.14	4.18	4.13	4.49	3.97	3.91	4.10	4.33	4.19	-	-
2010	4.59	4.59	4.73	4.45	4.48	4.23	4.27	4.28	4.57	4.03	3.88	4.15	4.39	4.24	-	-
2011	4.54	4.59	4.73	4.36	4.51	4.15	4.12	4.17	4.51	4.04	3.88	4.07	4.32	4.26	-	-
2012	4.38	4.47	4.67	4.30	4.42	4.10	4.19	4.12	4.47	3.97	3.73	4.01	4.23	4.32	-	-
2013	4.55	4.57	4.71	4.36	4.45	4.13	4.19	4.14	4.50	3.99	3.83	4.08	4.31	4.39	-	-
2014	4.57	4.57	4.74	4.42	4.48	4.23	4.32	4.22	4.57	4.06	3.87	4.13	4.40	4.46	-	-
2015	4.59	4.62	4.74	4.46	4.54	4.29	4.35	4.32	4.60	4.02	3.86	4.16	4.44	4.51	-	-
2016	4.55	4.63	4.73	4.41	4.47	4.23	4.33	4.22	4.53	4.03	3.82	4.16	4.39	4.46	-	-
2017	4.60	4.61	4.76	4.42	4.48	4.19	4.31	4.18	4.57	4.02	3.88	4.12	4.37	4.46	-	-
2018	4.65	4.69	4.78	4.50	4.55	4.35	4.36	4.41	4.65	4.10	4.17	4.26	4.49	4.56	-	-
2019	4.62	4.69	4.82	4.55	4.60	4.40	4.44	4.41	4.67	4.18	4.24	4.31	4.54	4.60	-	-
2020	4.52	4.60	4.78	4.45	4.39	4.03	4.30	4.24	4.48	4.19	4.27	4.21	4.36	4.50	-	-
2021	4.67	4.74	4.82	4.61	4.66	4.30	4.50	4.40	4.74	4.40	4.36	4.31	4.49	4.58	4.52	4.51
平均	4.56	4.61	4.74	4.43	4.49	4.21	4.30	4.25	4.57	4.08	3.98	4.16	4.39	4.43	4.52	4.51

秋学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.58	4.57	4.71	4.43	4.39	4.20	4.28	4.32	4.54	4.03	4.01	4.15	4.39	4.30	-	-
2010	4.66	4.64	4.71	4.51	4.52	4.30	4.38	4.34	4.58	4.14	4.04	4.24	4.40	4.34	-	-
2011	4.56	4.58	4.71	4.42	4.46	4.27	4.27	4.27	4.59	4.00	3.92	4.17	4.40	4.27	-	-
2012	4.50	4.58	4.68	4.38	4.43	4.16	4.21	4.22	4.49	4.02	3.87	4.06	4.27	4.35	-	-
2013	4.46	4.49	4.61	4.31	4.37	4.12	4.21	4.16	4.49	4.00	3.94	4.04	4.26	4.32	-	-
2014	4.61	4.63	4.74	4.49	4.54	4.33	4.37	4.29	4.60	4.13	4.00	4.20	4.43	4.52	-	-
2015	4.62	4.66	4.75	4.49	4.57	4.37	4.38	4.36	4.64	4.08	3.98	4.25	4.46	4.50	-	-
2016	4.63	4.67	4.80	4.51	4.46	4.28	4.36	4.28	4.59	4.02	3.88	4.18	4.49	4.54	-	-
2017	4.66	4.72	4.82	4.53	4.53	4.37	4.36	4.33	4.64	4.09	3.97	4.25	4.51	4.57	-	-
2018	4.74	4.74	4.81	4.63	4.70	4.54	4.51	4.50	4.74	4.29	4.30	4.41	4.63	4.67	-	-
2019	4.63	4.67	4.80	4.52	4.56	4.40	4.43	4.41	4.65	4.23	4.20	4.34	4.53	4.59	-	-
2020	4.62	4.66	4.80	4.55	4.54	4.25	4.35	4.38	4.63	4.35	4.30	4.28	4.46	4.57	-	-
2021	4.69	4.70	4.79	4.58	4.61	4.38	4.46	4.41	4.70	4.33	4.29	4.29	4.51	4.58	4.55	4.51
平均	4.61	4.64	4.75	4.49	4.51	4.31	4.35	4.33	4.61	4.13	4.05	4.22	4.44	4.47	4.55	4.51

通年

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.54	4.57	4.69	4.37	4.37	4.17	4.23	4.22	4.51	4.00	3.95	4.12	4.36	4.25	-	-
2010	4.62	4.61	4.72	4.48	4.49	4.26	4.32	4.31	4.58	4.08	3.95	4.19	4.40	4.29	-	-
2011	4.55	4.58	4.72	4.38	4.49	4.20	4.19	4.22	4.55	4.03	3.90	4.12	4.36	4.27	-	-
2012	4.44	4.52	4.68	4.34	4.42	4.13	4.20	4.17	4.48	4.00	3.80	4.03	4.25	4.34	-	-
2013	4.51	4.53	4.66	4.34	4.41	4.13	4.19	4.15	4.50	4.00	3.88	4.06	4.29	4.36	-	-
2014	4.59	4.60	4.74	4.45	4.51	4.28	4.34	4.26	4.58	4.09	3.92	4.16	4.41	4.49	-	-
2015	4.60	4.63	4.74	4.48	4.55	4.33	4.37	4.34	4.62	4.05	3.91	4.20	4.45	4.50	-	-
2016	4.59	4.65	4.77	4.46	4.46	4.26	4.34	4.25	4.56	4.02	3.85	4.17	4.44	4.50	-	-
2017	4.63	4.66	4.79	4.47	4.50	4.28	4.33	4.25	4.60	4.05	3.92	4.18	4.43	4.51	-	-
2018	4.69	4.72	4.79	4.57	4.62	4.45	4.44	4.46	4.69	4.20	4.23	4.34	4.56	4.62	-	-
2019	4.63	4.68	4.81	4.53	4.58	4.40	4.44	4.41	4.66	4.20	4.22	4.32	4.53	4.60	-	-
2020	4.57	4.63	4.79	4.50	4.47	4.14	4.32	4.30	4.55	4.27	4.28	4.24	4.41	4.53	-	-
2021	4.68	4.72	4.80	4.59	4.63	4.34	4.48	4.41	4.72	4.37	4.33	4.30	4.50	4.58	4.54	4.51
平均	4.59	4.62	4.75	4.46	4.50	4.26	4.32	4.29	4.58	4.10	4.01	4.19	4.41	4.45	4.54	4.51

表2:コア科目群(回答の平均値)
春学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.40	4.48	4.69	4.15	4.17	3.98	4.06	3.92	4.43	3.84	3.78	3.89	4.16	4.03	-	-
2010	4.46	4.42	4.59	4.39	4.18	3.96	4.10	3.92	4.39	3.93	3.79	3.86	4.10	3.98	-	-
2011	4.41	4.39	4.64	4.10	4.07	3.72	3.86	3.73	4.24	3.85	3.50	3.56	3.85	3.90	-	-
2012	4.01	4.12	4.47	3.87	4.06	3.57	3.78	3.69	4.19	3.71	3.32	3.47	3.63	3.80	-	-
2013	4.50	4.45	4.71	4.29	4.32	3.87	3.97	3.98	4.37	3.90	3.62	3.93	4.16	4.27	-	-
2014	4.49	4.52	4.80	4.44	4.32	4.11	4.20	4.10	4.50	4.04	3.66	4.00	4.30	4.40	-	-
2015	4.48	4.46	4.75	4.28	4.39	4.03	4.20	4.15	4.43	3.76	3.55	3.86	4.25	4.36	-	-
2016	4.43	4.57	4.70	4.29	4.27	4.15	4.25	4.07	4.37	3.92	3.63	4.01	4.23	4.33	-	-
2017	4.52	4.51	4.79	4.37	4.39	4.09	4.28	4.11	4.44	3.86	3.56	3.92	4.27	4.38	-	-
2018	4.52	4.60	4.81	4.42	4.41	4.16	4.17	4.21	4.58	4.08	4.00	4.05	4.32	4.42	-	-
2019	4.54	4.58	4.77	4.47	4.46	4.26	4.25	4.24	4.55	4.08	4.11	4.11	4.38	4.51	-	-
2020	4.53	4.58	4.81	4.51	4.30	3.90	4.31	4.15	4.37	4.15	4.24	4.09	4.24	4.45	-	-
2021	4.56	4.63	4.73	4.53	4.54	4.04	4.40	4.19	4.66	4.23	4.26	4.12	4.27	4.41	4.46	4.23
平均	4.45	4.48	4.71	4.32	4.30	3.99	4.14	4.04	4.43	3.95	3.77	3.91	4.17	4.25	4.46	4.23

秋学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.55	4.48	4.69	4.38	4.03	3.82	4.03	4.13	4.39	3.95	3.86	3.86	4.16	4.03	-	-
2010	4.72	4.68	4.78	4.52	4.25	4.10	4.35	4.34	4.57	4.20	3.96	4.10	4.29	4.15	-	-
2011	4.49	4.41	4.64	4.38	4.15	4.03	4.09	4.07	4.46	4.01	3.90	3.99	4.19	4.08	-	-
2012	4.08	4.13	4.35	3.78	3.84	3.59	3.84	3.82	4.08	3.66	3.38	3.57	3.65	3.80	-	-
2013	4.27	4.24	4.53	4.15	4.17	3.99	4.22	4.19	4.28	3.89	3.72	3.96	4.10	4.23	-	-
2014	4.50	4.55	4.75	4.40	4.29	4.14	4.24	4.15	4.49	4.03	3.72	3.97	4.21	4.33	-	-
2015	4.50	4.53	4.76	4.31	4.39	4.17	4.33	4.30	4.51	3.94	3.64	4.06	4.28	4.33	-	-
2016	4.39	4.47	4.73	4.32	4.01	4.02	4.23	4.22	4.24	3.74	3.58	3.90	4.25	4.27	-	-
2017	4.48	4.56	4.76	4.42	4.23	4.11	4.19	4.25	4.40	3.88	3.60	3.98	4.29	4.36	-	-
2018	4.68	4.73	4.84	4.52	4.48	4.47	4.44	4.51	4.63	4.01	4.12	4.20	4.56	4.57	-	-
2019	4.45	4.56	4.77	4.36	4.26	4.19	4.25	4.20	4.41	3.88	3.99	4.02	4.26	4.38	-	-
2020	4.38	4.51	4.70	4.38	4.31	3.90	4.11	4.14	4.39	4.05	4.06	3.78	4.05	4.23	-	-
2021	4.69	4.67	4.80	4.55	4.54	4.26	4.40	4.37	4.65	4.21	4.19	4.09	4.37	4.40	4.58	4.52
平均	4.48	4.50	4.70	4.34	4.23	4.06	4.21	4.21	4.42	3.96	3.82	3.96	4.21	4.24	4.58	4.52

通年

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.45	4.48	4.69	4.24	4.12	3.92	4.05	4.00	4.42	3.89	3.81	3.88	4.16	4.03	-	-
2010	4.58	4.54	4.68	4.45	4.21	4.03	4.21	4.11	4.47	4.05	3.87	3.97	4.19	4.06	-	-
2011	4.45	4.40	4.64	4.25	4.11	3.89	3.98	3.91	4.36	3.94	3.71	3.79	4.03	4.00	-	-
2012	4.04	4.12	4.42	3.83	3.98	3.58	3.81	3.74	4.15	3.69	3.34	3.51	3.64	3.80	-	-
2013	4.43	4.39	4.66	4.25	4.27	3.91	4.05	4.05	4.35	3.89	3.65	3.94	4.14	4.26	-	-
2014	4.50	4.53	4.78	4.42	4.31	4.12	4.22	4.12	4.49	4.04	3.69	3.99	4.26	4.37	-	-
2015	4.49	4.49	4.76	4.29	4.39	4.09	4.25	4.21	4.46	3.83	3.59	3.94	4.26	4.35	-	-
2016	4.41	4.51	4.71	4.31	4.14	4.08	4.24	4.15	4.30	3.83	3.60	3.95	4.24	4.30	-	-
2017	4.50	4.54	4.77	4.40	4.30	4.10	4.23	4.18	4.42	3.87	3.58	3.95	4.28	4.37	-	-
2018	4.58	4.65	4.82	4.46	4.44	4.28	4.28	4.33	4.60	4.05	4.05	4.11	4.42	4.48	-	-
2019	4.49	4.57	4.77	4.42	4.36	4.23	4.25	4.22	4.48	3.98	4.05	4.07	4.32	4.44	-	-
2020	4.47	4.55	4.77	4.46	4.31	3.90	4.22	4.15	4.38	4.11	4.17	3.96	4.16	4.36	-	-
2021	4.61	4.65	4.76	4.54	4.54	4.13	4.40	4.27	4.66	4.22	4.23	4.10	4.31	4.41	4.51	4.36
平均	4.46	4.49	4.71	4.33	4.27	4.02	4.17	4.11	4.43	3.95	3.79	3.94	4.19	4.25	4.51	4.36

表3:ベーシック科目群(回答の平均値)
春学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.49	4.53	4.57	4.25	4.30	4.05	4.11	4.06	4.39	3.97	3.85	4.05	4.28	4.18	-	-
2010	4.61	4.60	4.78	4.45	4.54	4.22	4.23	4.28	4.60	4.04	3.82	4.17	4.41	4.21	-	-
2011	4.53	4.63	4.75	4.38	4.57	4.15	4.00	4.18	4.51	4.01	3.76	4.06	4.36	4.31	-	-
2012	4.38	4.55	4.72	4.38	4.47	4.16	4.18	4.16	4.45	3.98	3.65	4.08	4.32	4.41	-	-
2013	4.59	4.65	4.75	4.37	4.55	4.18	4.15	4.16	4.52	3.98	3.64	4.05	4.30	4.39	-	-
2014	4.55	4.51	4.68	4.31	4.47	4.10	4.27	4.12	4.49	3.99	3.73	4.00	4.30	4.37	-	-
2015	4.70	4.75	4.79	4.61	4.66	4.32	4.43	4.37	4.65	4.13	3.93	4.27	4.51	4.61	-	-
2016	4.53	4.62	4.71	4.40	4.54	4.18	4.34	4.22	4.54	3.98	3.76	4.12	4.40	4.47	-	-
2017	4.55	4.57	4.78	4.38	4.48	4.09	4.16	4.10	4.54	4.04	3.82	4.00	4.22	4.32	-	-
2018	4.63	4.71	4.82	4.50	4.57	4.29	4.24	4.31	4.61	4.14	4.15	4.20	4.44	4.54	-	-
2019	4.62	4.68	4.81	4.53	4.62	4.29	4.41	4.39	4.65	4.22	4.28	4.26	4.50	4.49	-	-
2020	4.57	4.69	4.83	4.49	4.48	4.00	4.28	4.21	4.57	4.35	4.35	4.32	4.41	4.57	-	-
2021	4.63	4.74	4.84	4.61	4.66	4.28	4.41	4.33	4.74	4.42	4.40	4.36	4.47	4.56	4.52	4.63
平均	4.57	4.63	4.76	4.44	4.53	4.18	4.25	4.22	4.56	4.10	3.93	4.15	4.38	4.42	4.52	4.63

秋学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.60	4.54	4.67	4.39	4.27	4.10	4.19	4.22	4.38	3.99	3.83	4.10	4.33	4.27	-	-
2010	4.65	4.67	4.75	4.50	4.53	4.29	4.32	4.29	4.51	4.04	3.79	4.27	4.41	4.35	-	-
2011	4.50	4.59	4.73	4.38	4.57	4.21	4.22	4.27	4.60	3.90	3.73	4.18	4.34	4.23	-	-
2012	4.61	4.67	4.77	4.52	4.46	4.23	4.24	4.24	4.51	4.11	3.81	4.15	4.35	4.48	-	-
2013	4.39	4.38	4.57	4.18	4.17	3.92	4.03	3.92	4.37	3.85	3.73	3.83	4.10	4.18	-	-
2014	4.57	4.57	4.68	4.41	4.52	4.29	4.28	4.26	4.54	4.05	3.90	4.16	4.36	4.43	-	-
2015	4.69	4.64	4.75	4.53	4.53	4.31	4.29	4.37	4.61	4.02	3.80	4.16	4.45	4.47	-	-
2016	4.64	4.73	4.81	4.55	4.58	4.37	4.39	4.38	4.66	4.00	3.75	4.23	4.53	4.55	-	-
2017	4.65	4.73	4.78	4.52	4.49	4.29	4.35	4.26	4.63	4.04	3.92	4.16	4.39	4.47	-	-
2018	4.73	4.75	4.85	4.66	4.76	4.50	4.56	4.50	4.75	4.33	4.30	4.42	4.62	4.68	-	-
2019	4.63	4.65	4.76	4.50	4.52	4.32	4.38	4.35	4.59	4.22	4.06	4.30	4.45	4.53	-	-
2020	4.73	4.76	4.89	4.66	4.61	4.27	4.47	4.48	4.72	4.35	4.38	4.41	4.51	4.64	-	-
2021	4.80	4.75	4.82	4.67	4.64	4.34	4.54	4.48	4.73	4.39	4.34	4.32	4.57	4.65	4.69	4.65
平均	4.63	4.65	4.76	4.50	4.51	4.26	4.33	4.31	4.58	4.10	3.95	4.21	4.42	4.46	4.69	4.65

通年

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.54	4.54	4.61	4.31	4.29	4.07	4.14	4.13	4.39	3.97	3.84	4.07	4.30	4.21	-	-
2010	4.63	4.63	4.77	4.47	4.54	4.24	4.26	4.28	4.57	4.04	3.81	4.20	4.41	4.26	-	-
2011	4.52	4.61	4.74	4.38	4.57	4.17	4.07	4.21	4.54	3.97	3.75	4.10	4.35	4.28	-	-
2012	4.48	4.60	4.74	4.44	4.47	4.19	4.21	4.19	4.48	4.04	3.72	4.11	4.33	4.44	-	-
2013	4.50	4.52	4.66	4.28	4.37	4.05	4.09	4.05	4.45	3.92	3.69	3.94	4.21	4.29	-	-
2014	4.56	4.54	4.68	4.36	4.50	4.20	4.27	4.20	4.52	4.02	3.82	4.08	4.33	4.40	-	-
2015	4.69	4.70	4.78	4.57	4.60	4.31	4.37	4.37	4.63	4.08	3.87	4.22	4.48	4.54	-	-
2016	4.59	4.68	4.76	4.48	4.56	4.28	4.36	4.30	4.60	3.99	3.75	4.17	4.46	4.51	-	-
2017	4.60	4.65	4.78	4.45	4.48	4.19	4.26	4.18	4.58	4.04	3.87	4.08	4.30	4.40	-	-
2018	4.68	4.73	4.83	4.58	4.67	4.40	4.41	4.41	4.68	4.25	4.23	4.31	4.54	4.61	-	-
2019	4.62	4.66	4.78	4.51	4.57	4.31	4.39	4.37	4.62	4.22	4.17	4.28	4.48	4.51	-	-
2020	4.64	4.73	4.86	4.57	4.54	4.13	4.37	4.33	4.64	4.35	4.37	4.36	4.46	4.60	-	-
2021	4.71	4.75	4.83	4.64	4.65	4.31	4.47	4.40	4.73	4.41	4.37	4.34	4.52	4.60	4.60	4.64
平均	4.60	4.64	4.76	4.46	4.52	4.22	4.28	4.26	4.57	4.10	3.94	4.17	4.40	4.43	4.60	4.64

表4:アドバンスト科目群(回答の平均値)
春学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.62	4.71	4.77	4.51	4.56	4.39	4.37	4.39	4.65	4.07	4.07	4.32	4.53	4.35	-	-
2010	4.64	4.67	4.74	4.48	4.56	4.39	4.42	4.48	4.64	4.07	4.01	4.27	4.54	4.42	-	-
2011	4.61	4.63	4.75	4.46	4.64	4.34	4.36	4.36	4.63	4.16	4.17	4.31	4.50	4.38	-	-
2012	4.60	4.63	4.77	4.51	4.60	4.39	4.45	4.35	4.67	4.12	4.07	4.28	4.52	4.58	-	-
2013	4.55	4.57	4.68	4.41	4.46	4.27	4.35	4.24	4.57	4.07	4.10	4.21	4.43	4.48	-	-
2014	4.60	4.62	4.74	4.46	4.56	4.35	4.40	4.33	4.65	4.11	4.02	4.25	4.49	4.54	-	-
2015	4.58	4.63	4.71	4.48	4.55	4.41	4.39	4.38	4.66	4.09	3.97	4.26	4.51	4.54	-	-
2016	4.60	4.66	4.76	4.45	4.50	4.28	4.35	4.28	4.59	4.10	3.92	4.23	4.44	4.51	-	-
2017	4.64	4.65	4.74	4.45	4.50	4.26	4.37	4.23	4.62	4.06	4.00	4.22	4.45	4.54	-	-
2018	4.71	4.72	4.76	4.54	4.59	4.46	4.49	4.53	4.69	4.09	4.25	4.37	4.57	4.63	-	-
2019	4.66	4.73	4.84	4.58	4.64	4.50	4.52	4.47	4.72	4.19	4.27	4.39	4.62	4.68	-	-
2020	4.49	4.55	4.73	4.39	4.36	4.11	4.32	4.29	4.48	4.10	4.22	4.19	4.38	4.48	-	-
2021	4.75	4.79	4.84	4.65	4.71	4.45	4.60	4.56	4.78	4.49	4.39	4.39	4.62	4.69	4.56	4.59
平均	4.62	4.66	4.76	4.49	4.56	4.35	4.41	4.38	4.64	4.13	4.11	4.28	4.51	4.52	4.56	4.59

秋学期

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.57	4.61	4.74	4.47	4.58	4.38	4.42	4.45	4.68	4.09	4.17	4.28	4.51	4.41	-	-
2010	4.64	4.61	4.67	4.50	4.61	4.38	4.42	4.36	4.62	4.18	4.20	4.28	4.43	4.40	-	-
2011	4.64	4.67	4.74	4.46	4.58	4.44	4.40	4.39	4.66	4.06	4.04	4.27	4.55	4.40	-	-
2012	4.58	4.67	4.74	4.50	4.61	4.31	4.31	4.36	4.61	4.10	4.06	4.18	4.44	4.47	-	-
2013	4.56	4.62	4.66	4.43	4.55	4.28	4.31	4.30	4.62	4.12	4.12	4.19	4.40	4.43	-	-
2014	4.68	4.71	4.79	4.59	4.65	4.43	4.49	4.37	4.69	4.22	4.18	4.31	4.58	4.66	-	-
2015	4.63	4.71	4.74	4.54	4.65	4.47	4.44	4.37	4.69	4.16	4.17	4.35	4.53	4.57	-	-
2016	4.71	4.73	4.81	4.56	4.57	4.34	4.39	4.26	4.69	4.13	4.05	4.26	4.57	4.64	-	-
2017	4.74	4.78	4.87	4.58	4.67	4.53	4.44	4.40	4.74	4.20	4.15	4.41	4.66	4.70	-	-
2018	4.76	4.75	4.78	4.64	4.73	4.58	4.51	4.50	4.76	4.34	4.34	4.46	4.65	4.70	-	-
2019	4.70	4.73	4.83	4.59	4.69	4.51	4.52	4.51	4.76	4.36	4.34	4.48	4.65	4.70	-	-
2020	4.64	4.66	4.78	4.55	4.59	4.36	4.36	4.40	4.66	4.46	4.33	4.37	4.57	4.65	-	-
2021	4.64	4.69	4.77	4.54	4.62	4.43	4.44	4.39	4.70	4.35	4.30	4.34	4.53	4.60	4.47	4.45
平均	4.65	4.69	4.76	4.53	4.62	4.42	4.42	4.39	4.68	4.21	4.19	4.32	4.54	4.56	4.47	4.45

通年

年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
2009	4.59	4.65	4.75	4.48	4.57	4.39	4.40	4.42	4.67	4.08	4.13	4.29	4.52	4.38	-	-
2010	4.64	4.63	4.70	4.49	4.59	4.39	4.42	4.42	4.63	4.13	4.11	4.28	4.48	4.41	-	-
2011	4.62	4.65	4.75	4.46	4.62	4.39	4.38	4.38	4.65	4.12	4.11	4.29	4.53	4.39	-	-
2012	4.59	4.65	4.75	4.51	4.61	4.34	4.37	4.35	4.64	4.11	4.07	4.22	4.47	4.52	-	-
2013	4.56	4.60	4.67	4.42	4.51	4.28	4.33	4.27	4.60	4.10	4.11	4.20	4.41	4.45	-	-
2014	4.64	4.66	4.76	4.52	4.60	4.38	4.43	4.35	4.67	4.16	4.09	4.27	4.53	4.59	-	-
2015	4.61	4.67	4.72	4.51	4.60	4.44	4.41	4.38	4.68	4.13	4.07	4.31	4.52	4.55	-	-
2016	4.66	4.69	4.79	4.50	4.54	4.31	4.37	4.27	4.64	4.11	3.99	4.24	4.50	4.57	-	-
2017	4.68	4.71	4.80	4.51	4.57	4.37	4.40	4.30	4.67	4.12	4.06	4.30	4.54	4.60	-	-
2018	4.73	4.73	4.77	4.59	4.66	4.52	4.50	4.51	4.72	4.22	4.29	4.42	4.61	4.66	-	-
2019	4.68	4.73	4.84	4.59	4.66	4.51	4.52	4.49	4.74	4.27	4.30	4.43	4.63	4.69	-	-
2020	4.57	4.61	4.76	4.47	4.48	4.24	4.34	4.35	4.58	4.29	4.28	4.29	4.48	4.57	-	-
2021	4.69	4.73	4.80	4.59	4.66	4.44	4.51	4.46	4.73	4.41	4.34	4.36	4.57	4.64	4.51	4.51
平均	4.64	4.67	4.76	4.51	4.59	4.38	4.41	4.38	4.66	4.17	4.15	4.30	4.52	4.54	4.51	4.51

(2) 科目別学生満足度

表5は、コア科目、ベーシック科目、アドバンスト科目の科目群別に、設問 12 の「この授業を受けることで分析能力や批判力がついたと思いますか」、設問 13 の「この授業は全般的に満足のいくものでしたか」、設問 14 の「この授業は今後の学習にとって有意義なものでしたか」の科目ごとの平均(小数点第 3 位で四捨五入)を示したものである。各科目の授業の平均点については、履修人数、受講した学生など、様々な事情も絡んでいる。個々の教員がそれぞれに適切に分析し、今後の授業に生かしていくことが求められるであろう。

特に設問13の総合満足度が 4.0 を下回る科目として、コア科目で 2 科目、ベーシック科目で 3 科目、そしてアドバンスト科目で 6 科目あり、それらの科目についての改善が求められる。

表5:科目ごとの回答の平均値
春学期・コア科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
企業倫理	1	56	4.17	4.49	4.68
経営学	1	78	4.17	4.30	4.48
会計学	1	31	4.06	4.17	4.39
経済学	1	14	4.09	4.27	4.27
統計学	1	35	4.41	4.23	4.45
統計学	2	40	4.21	4.50	4.58
英語コミュニケーション	1	26	3.53	3.62	3.67
英語コミュニケーション	2	18	3.71	4.27	4.18

秋学期・コア科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
企業倫理	2	45	4.22	4.65	4.65
経営学	2	20	4.46	4.77	4.77
会計学	2	63	4.19	4.32	4.44
経済学	2	17	3.53	3.20	3.73
統計学	3	29	4.50	4.57	4.48
英語コミュニケーション	3	23	3.75	4.31	4.19
英語コミュニケーション	4	24	3.65	4.39	4.17

春学期・ベーシック科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
経営戦略	1	66	4.20	4.13	4.30
人的資源管理	1	56	4.33	4.64	4.71
マーケティング・マネジメント	1	32	4.71	4.88	4.88
コーポレート・ファイナンス基礎	1	18	4.21	4.29	4.29
テクノロジー・マネジメント	1	25	4.67	4.86	4.86
情報システム		27	4.38	4.44	4.63
ベンチャービジネス	1	34	4.38	4.50	4.38
公共経営論	1	14	4.40	4.60	4.60
行動科学		23	4.23	4.15	4.62
統計分析論		23	4.43	4.64	4.86
ゲーム理論	1	21	4.50	4.33	4.42
上級英語コミュニケーション	1	4	3.00	3.50	3.00
イノベティブ・シンキング	1	34	4.33	4.50	4.56

秋学期・ベーシック科目

科目名	クラス	履修者数	設問12	設問13	設問14
経営戦略	2	34	4.14	3.90	4.32
人的資源管理	2	26	4.45	4.75	4.85
マーケティング・マネジメント	2	45	4.47	4.69	4.69
コーポレート・ファイナンス基礎	2	27	4.06	4.33	4.50
財務諸表分析		35	4.64	4.92	4.88
テクノロジー・マネジメント	2	43	4.37	4.61	4.64
ベンチャービジネス	2	20	4.58	4.75	4.75
公共経営論	2	30	3.71	4.62	4.62
ゲーム理論	2	26	4.35	4.75	4.70
会社法		10	3.80	3.80	4.10
上級英語コミュニケーション	2	4	5.00	5.00	5.00
イノベティブ・シンキング	2	16	4.54	4.62	4.75

春学期・アドバンスト科目

科目名	クラス	履修者数	設間12	設間13	設間14
管理会計		11	4.43	4.86	4.86
企業経営史		17	4.00	4.57	4.57
組織管理		32	4.00	4.14	4.24
人材マネジメント		38	4.20	4.67	4.80
地域振興		12	4.10	4.10	4.30
Business Negotiation		2	5.00	5.00	5.00
ブランド・マネジメント		24	4.38	4.50	4.63
マーケティング・コミュニケーション	1	18	4.70	4.80	4.80
マーケティング戦略		31	4.46	4.63	4.71
流通システム		11	4.80	5.00	4.80
消費者行動		20	4.67	4.53	4.67
ロジスティクス		6	4.17	4.67	4.67
リアルオプション		7	4.71	4.86	4.86
リスクマネジメント		4	2.50	4.00	4.50
Special Topics in Finance		1	5.00	5.00	5.00
行動経済学		23	4.73	4.80	4.80
製品開発		9	4.33	4.83	4.83
標準化経営戦略		18	4.80	4.67	4.73
知的財産戦略		11	4.11	4.78	4.67
ベンチャービジネス事例研究		14	4.92	5.00	5.00
企業倫理事例研究		24	4.35	4.60	4.70
研究開発型ベンチャー創成		12	4.63	4.88	4.75
ベンチャーファイナンス		7	4.80	4.80	5.00
企業経営戦略特論A		10	4.57	4.86	4.86
企業経営戦略特論E		30	4.00	4.08	4.38
企業経営戦略特論I		50	4.57	4.68	4.76
課題研究基礎	1	17	4.20	4.53	4.67
課題研究基礎	2	6	3.83	5.00	5.00
課題研究基礎	7	5	5.00	5.00	5.00
企業経営戦略特論L		8	3.50	5.00	4.50
企業経営戦略特論M		17	4.75	5.00	5.00
課題研究	1	7	4.80	4.80	4.80
課題研究	3	5	4.80	5.00	5.00
課題研究	13	5	5.00	5.00	5.00
課題研究	19	2	5.00	5.00	5.00
課題研究	23	2	4.00	4.00	5.00
課題研究	27	6	4.75	4.80	5.00
官民パートナーシップ論		5	4.75	4.75	4.50
病院経営		6	3.67	3.67	3.67
病院経営事例研究		5	3.75	4.50	4.75
病院アドミニストレーション		11	3.63	4.13	4.25
学校法人会計		13	3.33	3.33	3.67
大学経営		9	5.00	5.00	5.00
大学経営事例研究		5	4.33	4.33	4.67
大学組織管理		4	4.33	4.67	4.67

秋学期・アドバンスト科目

科目名	クラス	履修者数	設間12	設間13	設間14
コーポレート・ファイナンス応用		10	4.83	5.00	4.67
企業家論		24	4.25	4.71	4.76
NPOマネジメント		17	4.63	4.88	4.75
事業システム戦略論		33	4.38	4.63	4.63
経営戦略事例研究		15	4.20	4.90	4.70
サービス・マーケティング		20	4.50	4.58	4.58
チャネル・マネジメント		6	5.00	5.00	5.00
マーケティング・コミュニケーション	2	13	4.75	4.88	4.88
営業戦略		19	3.43	3.29	3.29
国際マーケティング		3	4.00	4.00	5.00
マーケティング・リサーチ		17	4.60	4.70	4.70
ソーシャル・マネジメント		22	4.22	4.39	4.50
証券投資		4	4.50	5.00	5.00
行動ファイナンス		2	4.50	5.00	5.00
イノベーション経営		40	4.50	4.50	4.58
生産システム		11	4.70	4.90	4.90
データマイニング		9	4.80	5.00	4.80
製品開発事例研究		11	4.38	4.75	4.50
システム・シンキング		74	4.25	4.36	4.49
システム・デザイン演習		48	4.50	4.81	4.93
アントレプレナーシップ		15	4.38	4.38	4.46
中小企業経営革新		33	4.61	4.79	4.75
知的財産権法		3	4.67	4.67	4.67
企業経営戦略特論B		22	4.71	4.88	4.94
企業経営戦略特論C		12	4.00	4.17	4.17
企業経営戦略特論F		27	4.24	4.76	4.81
課題研究基礎	4	17	4.70	4.50	4.80
課題研究基礎	5	21	4.44	4.75	4.81
課題研究基礎	8	10	5.00	5.00	5.00
課題研究基礎	9	2	5.00	5.00	5.00
企業経営戦略特論K		13	4.27	4.91	4.82
課題研究	2	8	4.50	4.50	4.50
課題研究	4	7	4.50	5.00	5.00
課題研究	6	1	5.00	5.00	5.00
課題研究	8	5	5.00	5.00	5.00
課題研究	14	8	5.00	5.00	5.00
課題研究	18	3	5.00	5.00	5.00
課題研究	20	1	5.00	5.00	5.00
課題研究	22	4	4.50	4.75	4.75
課題研究	28	7	5.00	5.00	5.00
公共経営事例研究		13	3.67	4.00	3.83
公共政策		7	4.50	4.75	4.75
自治体会計		2	5.00	5.00	5.00
自治体ガバナンス		5	4.00	4.00	4.40
自治体財務管理		3	4.00	4.00	4.50
病院会計		10	3.88	3.88	4.38
病院組織管理		8	4.14	4.57	4.57
医療経済学		29	3.50	3.38	3.81
地域医療マネジメント		12	4.00	4.60	4.60
医療サービス・マネジメント		10	3.67	4.22	4.63
地方大学経営		5	5.00	5.00	5.00
大学ガバナンス		7	2.67	2.67	3.67
大学運営		25	4.00	4.13	4.50
財務会計論文指導IV	1	2	5.00	5.00	5.00

B. 教員による担当科目自己評価

教員による担当科目の自己評価は Web 上でのアンケート形式で実施されている。主な質問項目とその集計結果を以下に示す。

[主な質問項目]

1. 授業はシラバスに示した主題や目的に沿って行いましたか。
2. 学生が発言したり議論したりすることに十分配慮を払いましたか。
3. 個々の学生の内容理解の水準を考慮しましたか。
4. 学生の質問に丁寧に答えましたか。
5. この授業で学生の分析能力や批判力がついたと思いますか。
6. この授業はあなたにとって満足のいくものでしたか。
7. この授業は学生の仕事や資格の取得に役立つものと考えられますか。
8. この科目を担当するにあたって力を入れたことは何ですか。(複数選択可)
9. 上記 1~8 の回答を踏まえて、この科目を担当するにあたって当初予定していた目標は達成されたと思いますか。

表6:教員による担当科目自己評価集計結果

設問	期間	そう思う	だいたいそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	該当しない	合計
1	冬	1	2	0	0	0	0	3
1	夏	4	2	0	0	0	0	6
1	春	33	16	0	0	0	0	49
1	秋	33	20	0	0	0	0	53
2	冬	2	1	0	0	0	0	3
2	夏	4	2	0	0	0	0	6
2	春	34	15	0	1	0	0	50
2	秋	33	20	0	0	0	0	53
3	冬	1	2	0	0	0	0	3
3	夏	2	4	0	0	0	0	6
3	春	18	23	0	1	0	0	42
3	秋	16	31	0	0	0	0	47
4	冬	0	2	0	0	0	0	2
4	夏	4	1	0	0	0	0	5
4	春	31	18	0	1	0	0	50
4	秋	34	19	0	0	0	0	53
5	冬	1	1	0	0	0	0	2
5	夏	3	3	0	0	0	0	6
5	春	19	28	0	0	0	0	47
5	秋	16	28	0	0	0	0	44
6	冬	2	0	0	0	0	0	2
6	夏	2	4	0	0	0	0	6
6	春	22	24	0	0	0	0	46
6	秋	12	33	0	0	0	0	45
7	冬	1	1	0	0	0	0	2
7	夏	2	4	0	0	0	0	6
7	春	19	25	0	1	0	0	45
7	秋	20	22	0	0	0	0	42
9	冬	1	0	0	0	0	0	1
9	夏	2	4	0	0	0	0	6
9	春	23	25	0	0	0	0	48
9	秋	19	31	0	0	0	0	50
合計		414	411	0	4	0	0	829

殆どの教員が、「そう思う」もしくは「だいたいそう思う」と回答しており、満足のいく講義を行えていることがわかる。しかし、一方で、本アンケートは学生の評価と連動しておらず、双方のギャップがどこにあるのかを今後解析する必要が出てくるであろう。

4. 経営戦略専攻・国際経営コース

A. 学生による授業評価アンケート

以下に、国際経営コースにおける 2021 年度の授業評価アンケートの結果を春・秋学期別、および通年で過去 2 年度の結果と比較して分析する。ただし、質問項目 14「授業内容の就職後の実用性 (Course content were highly relevant and useful for your future career)」は国際経営コースで独自に追加している質問項目である。

表7:2021 年度授業評価結果 (2019 年、2020 年度との比較、各回答者の平均値を小数点第二位で四捨五入)

	年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
春学期	2019	4.73	4.75	4.71	4.56	4.65	4.58	4.43	4.57	4.64	4.44	4.40	4.50	4.56	4.55	-	-
	2020	4.51	4.60	4.64	4.40	4.44	4.38	4.31	4.43	4.52	4.41	4.36	4.36	4.40	4.39	-	-
	2021	4.77	4.79	4.81	4.71	4.75	4.73	4.64	4.73	4.73	4.67	4.60	4.69	4.71	4.66	4.58	4.70
秋学期	2019	4.61	4.68	4.74	4.47	4.43	4.54	4.42	4.39	4.50	4.34	4.32	4.37	4.35	4.43	-	-
	2020	4.51	4.55	4.60	4.40	4.48	4.44	4.43	4.43	4.48	4.45	4.42	4.42	4.47	4.51	-	-
	2021	4.75	4.78	4.80	4.72	4.74	4.72	4.62	4.71	4.73	4.64	4.59	4.69	4.71	4.70	4.72	4.74
通年	2019	4.67	4.71	4.72	4.52	4.54	4.56	4.43	4.48	4.57	4.39	4.36	4.44	4.46	4.49	-	-
	2020	4.51	4.57	4.62	4.40	4.46	4.41	4.37	4.43	4.50	4.43	4.39	4.39	4.43	4.45	-	-
	2021	4.76	4.79	4.80	4.71	4.74	4.73	4.63	4.72	4.73	4.66	4.60	4.69	4.71	4.68	4.63	4.72

通年での学生による授業全体評価の水準自体は概ね高い評価で推移している。14 の質問項目うち全ての項目で 4.6 点以上の評価が得られており、その他の項目でも 4.0 点を下回るものはなかった。質問項目の全てが 4.0 点を超えていることを評価したい。さらに 2021 年度においては、2020 年度に比べ、全ての質問項目で評価が向上した点も特筆に値する。

特に例年、比較的、評価が低い質問項目 10「You prepared and reviewed thoroughly for the classes.」(4.66 点)、および、質問項目 11「You made additional efforts for the course such as searching related materials for course topics.」(4.60 点)、においても、前年度に続いて評点の改善が続いた点は大きな達成である。他の質問項目での評価も向上しているので、相対的には評価の高い項目であるとは言えないが、4.5 点を上回る評価が得られているので、大きな問題であるとは考えていない。2021 年度は、コロナ禍下でのオンライン授業が徐々に対面授業に切り替った。質問項目 16「You had no problem taking this course online.」への評価が 4.63 点、質問項目 17「The instructor was proficient in teaching online.」が 4.72 点から、学生、教員の双方でのオンライン授業への習熟度が高まったことが伺える。こうした授業環境の改善を背景に、昨年度、評点が低下した教員側の授業設計の適否や、履修後の教育効果を問う質問群を中心に評価が向上したものと考えられる。加えて学生側の主体的な学習への取り組み姿勢を問う質問に対する自己評価も改善しており、全般的に大きな課題は見られない年度となった。

個々の質問項目の評価点を詳細に分析すると、上位3項目は、質問項目 3「The instructor's knowledge level was high enough to teach the course.」においては 4.80 点、質問項目 2「The instructor was well prepared for the classes.」が 4.79 点、質問項目 1「The course met the objectives and topics described in the syllabus.」が 4.76 点であり、概ね昨年と同様の評価結果である。この結果から、教員に対する学生の高い評価が高いことがわかる。教員全体が継続的な教育の向上活動 (FD) を行ったこと、シラバス記載の充実を研究科として組織的に推進した結果が反映されているものと考えられる。

次に高い評価が見られるのは、例えば質問項目 9「The instructor answered students' questions clearly and sufficiently.」が 4.73 点、質問項目 5「The instructor encouraged students comment and discussion.」が 4.74 点、質問項目 6「Instructor's interest in whether students learned was high.」が 4.73 点、などであった。これらも多少順位の変動はあるものの、例年、高評価を得ることができていた質問項目であり、安定した評価が得られたものと考えられる。特に質問項目 6「Instructor's interest in whether students learned was high.」については、後述するように昨年度の低評価が解消され、例年並みの高い評価が回復されたことを評価すべきである。

表8:2021 年度授業評価コア科目群結果 (2019 年、2020 年度との比較、各回答者の平均値を小数点第二位で四捨五入)

	年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
春学期	2019	4.57	4.58	4.49	4.51	4.53	4.49	4.34	4.45	4.51	4.36	4.38	4.39	4.32	4.43	-	-
	2020	4.53	4.65	4.64	4.37	4.44	4.32	4.30	4.40	4.54	4.36	4.29	4.22	4.36	4.25	-	-
	2021	4.84	4.90	4.88	4.86	4.92	4.86	4.78	4.86	4.88	4.76	4.57	4.71	4.82	4.76	4.67	4.88
秋学期	2019	4.59	4.70	4.76	4.55	4.57	4.60	4.45	4.50	4.54	4.21	4.20	4.47	4.38	4.59	-	-
	2020	4.59	4.68	4.66	4.54	4.66	4.51	4.46	4.45	4.54	4.44	4.40	4.44	4.49	4.51	-	-
	2021	4.69	4.69	4.63	4.59	4.56	4.59	4.56	4.63	4.63	4.44	4.39	4.53	4.53	4.59	4.65	4.68
通年	2019	4.58	4.64	4.64	4.53	4.55	4.55	4.40	4.48	4.52	4.28	4.28	4.43	4.35	4.52	-	-
	2020	4.56	4.66	4.65	4.44	4.54	4.40	4.37	4.42	4.54	4.40	4.34	4.32	4.42	4.36	-	-
	2021	4.78	4.81	4.78	4.75	4.78	4.75	4.69	4.77	4.78	4.63	4.49	4.64	4.70	4.69	4.66	4.80

表9:2021年度授業評価ベーシック科目群結果(2019年、2020年度との比較、各回答者の平均値を小数点第二位で四捨五入)

	年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
春学期	2019	4.82	4.82	4.78	4.69	4.65	4.60	4.51	4.53	4.64	4.64	4.60	4.59	4.62	4.60	-	-
	2020	4.49	4.60	4.66	4.35	4.41	4.34	4.12	4.31	4.42	4.40	4.35	4.37	4.24	4.44	-	-
	2021	4.72	4.74	4.72	4.62	4.75	4.68	4.61	4.61	4.61	4.62	4.55	4.64	4.69	4.62	4.46	4.62
秋学期	2019	4.61	4.69	4.67	4.36	4.46	4.53	4.12	4.20	4.55	4.39	4.31	4.34	4.31	4.37	-	-
	2020	4.56	4.57	4.60	4.33	4.48	4.42	4.29	4.51	4.57	4.45	4.37	4.50	4.53	4.54	-	-
	2021	4.74	4.81	4.80	4.76	4.69	4.69	4.50	4.61	4.71	4.64	4.55	4.60	4.62	4.67	4.75	4.73
通年	2019	4.69	4.74	4.71	4.49	4.53	4.56	4.27	4.32	4.58	4.49	4.43	4.43	4.43	4.46	-	-
	2020	4.53	4.59	4.62	4.34	4.45	4.39	4.22	4.42	4.51	4.43	4.36	4.45	4.41	4.50	-	-
	2021	4.73	4.77	4.75	4.68	4.73	4.69	4.56	4.61	4.65	4.63	4.55	4.62	4.66	4.64	4.57	4.66

表10:2021年度授業評価アドバンスト科目群結果(2019年、2020年度との比較、各回答者の平均値を小数点第二位で四捨五入)

	年度	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問16	設問17
春学期	2019	4.76	4.80	4.79	4.53	4.71	4.61	4.44	4.65	4.71	4.39	4.33	4.51	4.65	4.58	-	-
	2020	4.50	4.56	4.64	4.43	4.45	4.43	4.41	4.50	4.55	4.44	4.40	4.45	4.49	4.47	-	-
	2021	4.77	4.78	4.82	4.69	4.67	4.70	4.61	4.74	4.73	4.66	4.64	4.71	4.69	4.65	4.61	4.68
秋学期	2019	4.64	4.66	4.79	4.52	4.29	4.49	4.71	4.49	4.42	4.39	4.42	4.33	4.38	4.38	-	-
	2020	4.44	4.46	4.56	4.38	4.37	4.41	4.51	4.37	4.38	4.45	4.47	4.35	4.42	4.49	-	-
	2021	4.78	4.79	4.88	4.75	4.85	4.79	4.71	4.81	4.79	4.73	4.70	4.81	4.84	4.77	4.73	4.78
通年	2019	4.71	4.74	4.79	4.53	4.54	4.56	4.55	4.59	4.59	4.39	4.36	4.44	4.54	4.50	-	-
	2020	4.47	4.51	4.60	4.41	4.42	4.42	4.46	4.44	4.47	4.44	4.43	4.40	4.46	4.48	-	-
	2021	4.77	4.79	4.84	4.71	4.74	4.73	4.65	4.77	4.76	4.69	4.66	4.75	4.74	4.69	4.65	4.72

また、表8から表10はコア、ベーシック、アドバンストの科目群による同評価結果である。全体評価との比較で考えると、傾向としては前述した内容と同じ傾向が見受けられる。つまり2021年度は全体的に評価が向上した。

興味深いのは、コア科目群において軒並み評点の向上が見られ、ベーシック科目群を上回る評価が得られている点である。ベーシック科目群、アドバンスト科目群を履修する際の礎となるコア科目群は必修のコースで構成されているため、ベーシック科目群・アドバンスト科目群に比べて授業評価結果が低くなる傾向にあり、コア科目群に対する授業評価結果を、どのように向上させていくのかが、従来から各担当教員に課された大きな課題であったが、2021年度には、こうした傾向が解消された。アドバンスト科目群、およびベーシック科目群でも評価の向上が見られている中でコア科目群の評価の向上は高く評価すべきであると考えられる。質問項目2、4~7、9などではアドバンスト科目群を上回る評価も得られており、担当教員の努力の成果を評価したい。

昨年度評価が低下した項目でも全体にわたって改善が見られた。質問項目1「The course met the objectives and topics described in the syllabus.」、質問項目2「The instructor was well prepared for the classes.」、質問項目3「The instructor's knowledge level was high enough to teach the course.」および質問項目6「Instructor's interest in whether students learned was high.」について、コア科目群(各0.22、0.15、0.13、0.35点の向上)、ベーシック科目群(同0.20、0.18、0.13、0.30の向上)、アドバンスト科目群(各0.31、0.28、0.24、0.31点の向上)という結果であり、全般にわたり評価の向上が顕著であった。質問項目1~3は例年高い評価が得られていた質問項目であったが、昨年度、低下が見られた項目である。オンライン授業の際の機材の扱いや、シラバスの修正などの学生への情報提供の面で様々な改善が図られた結果として学生の満足度の向上につながったものと考えられる。ベーシック科目群、アドバンスト科目群においても、対面授業の経験がある履修者が減少したと推測されるので、過去の対面授業との比較で評価が低下する状況が解消されたものと考えられる。

以上、学生、教員の双方でオンライン授業、ハイフレックス授業への習熟が高まったこと、またコロナ禍前の対面授業の経験者が減少したこと、等により、コア科目群を中心に全般的に満足度が向上し、経年比較の観点からも、絶対的な評価水準の観点からも大きな課題が見られない水準の満足度が得られたものと考えられる。

B. 教員による授業評価アンケート

教員による授業評価アンケートでは、軒並み高い自己評価結果が得られた。全ての質問項目に対し、肯定的な回答が9割前後を占め、「そう思わない Strongly disagree」、および「あまりそう思わない Disagree」に対する回答比率の合計が5%を超える質問項目は皆無であった。少なくとも、教員の自己評価に関して言えば、大きな課題は示されておらず、2021年度も満足のいく授業が提供されたものと考えられるであろう。

より詳細に各質問項目への肯定的な回答の比率を示すと、下記の通りである。すなわち、「The course met the objectives and topics described in the syllabus.」（「そう思う Strongly agree.」、「だいたいそう思う Agree」の回答比率：各々64%、34%）、「You encouraged students comment and discussion.」（同：72%、22%）、「Your interest in whether students learned was high.」（同：68%、32%）、「You answered students' questions clearly and sufficiently.」（同：68%、32%）、「Students have obtained analytical abilities and critical thinking from the course.」（同：48%、36%）、「Overall, you are satisfied with the course.」（同：62%、28%）、「Course content were highly relevant and useful for students' future career.」（同：56%、32%）、「Do you think your goals have been achieved? Please answer this question in terms of goals you set at the beginning of the course on the basis of the answers of the above 1-8 questions. 62%、32%）。

上述した学生による満足度評価でも、全体的に評価が向上しているため、総じて肯定的な評価が得られている教員の自己評価との間には、高い整合性があると考えられる。

5. 会計専門職専攻

A. 学生による授業評価

(1) 概要

学生による授業評価アンケートは、【設問 1】から【設問 9】が「教員の授業内容と方法」について、【設問 10】と【設問 11】が「学生自身の取組み」について、【設問 12】から【設問 15】が「授業の満足度」について、そして【設問 16】と【設問 17】が「オンライン授業」について問うものである。

各設問の平均値(四捨五入)は、次のとおりであった。

表11:各設問の平均値

番	設問文	2021 年度春学期		2021 年度秋学期	
		1クォーター	2クォーター	3クォーター	4クォーター
1	授業内容は、シラバスで示された主題や目的に十分沿っていましたか。	4.8	4.9	4.8	4.9
2	教員は十分に準備をして授業に臨んでいましたか。	4.8	4.9	4.8	4.9
3	教員は、担当科目の授業を行うのに十分な専門知識を持っていましたか。	4.9	4.9	4.9	4.9
4	授業で指定された教科書や配布された資料は、学習の助けとなりましたか。	4.7	4.8	4.7	4.8
5	教員は学生が発言したり議論をすることに十分な配慮を払いましたか。	4.5	4.7	4.6	4.7
6	教員は、個々の学生の内容理解の水準を考慮していましたか。	4.3	4.6	4.5	4.6
7	この授業で与えられる課題の量は適正なものでしたか。	4.7	4.7	4.6	4.8
8	授業の内容と時間配分は適正なものでしたか。	4.5	4.8	4.6	4.8
9	教員は学生の質問に丁寧に答えていましたか。	4.8	4.8	4.8	4.8
10	この授業を受けるに当たって予習や復習を積極的に行いましたか。	4.6	4.6	4.6	4.7
11	この授業を受けるに当たって担当教員が示した参考文献に当たりましたか。	4.6	4.6	4.6	4.7
12	この授業を受けることで分析能力や批判力がついたと思いますか。	4.6	4.7	4.6	4.7
13	*この授業は全般的に満足のものでしたか。	4.6	4.8	4.7	4.8
14	この授業は今後の学習にとって有意義なものでですか。	4.7	4.9	4.8	4.8
15	この授業は仕事に役立ちそうですか。	4.6	4.8	4.7	4.7
16	【該当する場合にお答えください。】 この授業はオンラインで受講することに問題はなかった。	4.8	4.8	4.8	4.9
17	【該当する場合にお答えください。】 教員はオンラインでの授業に習熟していた。	4.6	4.8	4.8	4.9

コロナ禍により、2020 年度春学期は突然のオンライン授業化を余儀なくされた。非常に混乱していた時期であったので、授業資料を大学の web サイト上で配布するだけの授業も少なくなかった。また、急遽、オンライン授業用の課題を追加するなど対応をとったため、学生の負担が急増し、特に【設問 6】と【設問 7】の評点も減少した。

しかし、オンライン授業の2年目となった 2021 年度は、教員がオンライン授業に習熟したこともあり、評点は総じて例年と変わらない水準に戻っている。

なお、2021 年度から、アンケート結果を即授業実施に活用する観点から、アンケートの集計をクォーター毎に行うようになった。これを見ると、第1クォーターでは、【設問 6】「教員は、個々の学生の内容理解の水準を考慮していましたか。」(4.3)をはじめ、いくつかの設問で評点が低い傾向にある。

これは、1年目の学生にとっては初めての履修になるので、授業の難易度がよく分からず、自分の現在の知識水準を超える難易度の授業を履修してしまうことが原因と考えられる。

なお、オンライン授業2年目の 2021 年度から、【設問 16】と【設問 17】でオンライン授業に関する満足度について尋ねている。この回答結果(【設問 16】で 4.8~4.9、【設問 17】で 4.6~4.9)を見るに、概ね好評だったといえる。

(2) 全体評価～専攻平均値～

専攻平均値は、すべての設問の評点を平均したものの(小数点第二位で四捨五入)である。会計専門職専攻が開設された 2005 年度から現在までの推移は、次のとおりである。

表12:専攻平均値の推移

	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度
春学期	3.9	4.2	4.3	4.4	4.3	4.3
秋学期	4.2	4.3	4.5	4.5	4.5	4.4
	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
春学期	4.3	4.6	4.6	4.7	4.6	4.6
秋学期	4.4	4.6	4.7	4.7	4.6	4.6
	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	
春学期	4.6	4.5	4.6	4.6	4.7	
秋学期	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	

専攻平均値は、2007 年度秋学期まで上昇し続けた後、2008 年度から 2011 年度までは 4.3 から 4.5 という値を記録してきた。2012 年度以降は、4.5 以上を保ち続けている。このように近年は、総合的な評価としては高位での安定が図られているものと言ってよいであろう。また、2020 年度はコロナ禍により急遽、授業がオンラインに変更されたが、全体としては概ね例年と同水準を維持する結果となった。さらに、オンライン授業2年目となった 2021 年度は、2020 年度よりも改善し、春学期も秋学期も 4.7 と、かなり高い評価となった。

(3) 個別評価

① 教員の授業内容と方法(【設問 1】～【設問 9】)

表13:【設問 1】から【設問 9】の平均値

	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
(専攻全体)									
2017 年度春学期	4.8	4.8	4.9	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5	4.7
2017 年度秋学期	4.7	4.7	4.8	4.6	4.5	4.4	4.4	4.5	4.7
2018 年度春学期	4.6	4.7	4.7	4.6	4.4	4.4	4.5	4.5	4.6
2018 年度秋学期	4.7	4.7	4.8	4.6	4.6	4.5	4.4	4.5	4.6
2019 年度春学期	4.7	4.7	4.8	4.7	4.5	4.6	4.6	4.6	4.7
2019 年度秋学期	4.8	4.7	4.8	4.7	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7
2020 年度春学期	4.8	4.8	4.9	4.7	4.5	4.3	4.4	4.5	4.6
2020 年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.7
2021 年度春学期	4.8	4.9	4.9	4.8	4.6	4.5	4.7	4.6	4.8
2021 年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.6	4.7	4.7	4.8
(コア科目)									
2017 年度春学期	4.8	4.8	4.9	4.6	4.5	4.4	4.4	4.4	4.6
2017 年度秋学期	4.7	4.6	4.7	4.5	4.3	4.2	4.3	4.4	4.5
2018 年度春学期	4.6	4.6	4.7	4.6	4.3	4.3	4.4	4.4	4.5
2018 年度秋学期	4.6	4.6	4.7	4.6	4.4	4.3	4.3	4.4	4.5
2019 年度春学期	4.7	4.7	4.8	4.6	4.5	4.5	4.6	4.6	4.7
2019 年度秋学期	4.7	4.7	4.8	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6
2020 年度春学期	4.7	4.8	4.9	4.6	4.5	4.3	4.3	4.5	4.6
2020 年度秋学期	4.7	4.7	4.8	4.7	4.5	4.4	4.4	4.4	4.7

2021 年度春学期	4.8	4.9	5.0	4.8	4.6	4.4	4.7	4.7	4.8
2021 年度秋学期	4.8	4.9	4.9	4.8	4.6	4.5	4.7	4.7	4.8
(ベーシック科目)									
2017 年度春学期	4.9	4.9	5.0	4.8	4.8	4.6	4.7	4.7	4.9
2017 年度秋学期	4.8	4.7	4.8	4.7	4.7	4.5	4.5	4.6	4.7
2018 年度春学期	4.8	4.7	4.8	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.7
2018 年度秋学期	4.8	4.8	4.8	4.7	4.6	4.6	4.5	4.6	4.7
2019 年度春学期	4.8	4.7	4.8	4.8	4.6	4.7	4.6	4.7	4.7
2019 年度秋学期	4.7	4.8	4.9	4.8	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7
2020 年度春学期	4.7	4.7	4.8	4.6	4.3	4.3	4.4	4.5	4.5
2020 年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.6	4.6	4.6	4.7	4.7
2021 年度春学期	4.7	4.8	4.9	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.8
2021 年度秋学期	4.9	4.8	4.9	4.8	4.5	4.6	4.7	4.8	4.8
(アドバンスト科目)									
2017 年度春学期	4.8	4.7	4.9	4.6	4.9	4.7	4.5	4.6	4.9
2017 年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.6	4.5	4.5	4.8
2018 年度春学期	4.5	4.6	4.7	4.6	4.7	4.5	4.4	4.5	4.7
2018 年度秋学期	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8	4.6	4.5	4.6	4.7
2019 年度春学期	4.7	4.7	4.8	4.7	4.6	4.6	4.6	4.6	4.8
2019 年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.9
2020 年度春学期	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8	4.7	4.9
2020 年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.7	4.6	4.8	4.8	4.7
2021 年度春学期	4.8	4.9	5.0	4.8	4.7	4.6	4.8	4.7	4.9
2021 年度秋学期	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8	4.6	4.7	4.7	4.8

オンライン授業2年目の 2021 年度から始めた取り組みとして、学生の利便性向上のため、Zoom の機能を利用して、授業の動画を録画し、受講生に公開することにした。これにより、学生は復習が容易になり、また欠席してしまった学生も、授業にキャッチアップできるようになった。

オンライン授業1年目の 2020 年度は、いくつかの設問で例年より低い評点となったが、オンライン授業2年目の 2021 年度は、全体的に例年並みか、むしろ例年より高い評点となっている。

この傾向は、コア科目、ベーシック科目、アドバンスト科目のすべての難易度でも同様である。これは、教員がオンライン授業に習熟した結果、オンライン授業を対面授業の代替として利用する段階を超えて、むしろ、対面授業よりも効果的な授業方法として活用し始めたことを示しているのかもしれない。

とはいえ、すべての授業でオンライン授業の方が効果的という訳ではもちろんないので、今後、教員には、対面授業とオンライン授業のどちらの方が効果的かを適切に判断し、それぞれの授業スタイルの利点を生かす取り組みが求められよう。

② 学生自身の取組み(【設問 10】・【設問 11】)

「学生自身の取組み」を問う【設問 10】と【設問 11】の評価に関して、例年、他の設問に比して常に低くなっているが、これらの設問でも 2021 年度の評点は高くなっている。

表 14: 【設問 10】から【設問 17】の平均値

	設問 10	設問 11	設問 12	設問 13	設問 14	設問 16	設問 17
(専攻全体)							
2017 年度春学期	4.3	4.1	4.4	4.6	4.7		
2017 年度秋学期	4.3	4.1	4.4	4.6	4.6		

2018年度春学期	4.3	4.3	4.4	4.5	4.6		
2018年度秋学期	4.4	4.3	4.5	4.6	4.7		
2019年度春学期	4.5	4.3	4.5	4.6	4.7		
2019年度秋学期	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7		
2020年度春学期	4.5	4.4	4.5	4.5	4.7		
2020年度秋学期	4.5	4.5	4.5	4.6	4.7		
2021年度春学期	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.7
2021年度秋学期	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8
(コア科目)							
2017年度春学期	4.2	4.0	4.3	4.6	4.7		
2017年度秋学期	4.3	4.0	4.2	4.4	4.5		
2018年度春学期	4.3	4.2	4.3	4.5	4.5		
2018年度秋学期	4.3	4.1	4.4	4.5	4.5		
2019年度春学期	4.5	4.3	4.4	4.6	4.7		
2019年度秋学期	4.6	4.5	4.5	4.6	4.6		
2020年度春学期	4.5	4.3	4.4	4.5	4.7		
2020年度秋学期	4.5	4.5	4.4	4.5	4.6		
2021年度春学期	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.7	4.7
2021年度秋学期	4.5	4.7	4.6	4.7	4.8	4.8	4.8
(ベーシック科目)							
2017年度春学期	4.4	4.3	4.5	4.8	4.8		
2017年度秋学期	4.3	4.2	4.5	4.6	4.7		
2018年度春学期	4.4	4.4	4.5	4.6	4.7		
2018年度秋学期	4.4	4.3	4.6	4.7	4.7		
2019年度春学期	4.5	4.4	4.6	4.7	4.7		
2019年度秋学期	4.5	4.5	4.6	4.7	4.7		
2020年度春学期	4.4	4.4	4.4	4.5	4.6		
2020年度秋学期	4.4	4.3	4.5	4.7	4.8		
2021年度春学期	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	4.5
2021年度秋学期	4.7	4.6	4.7	4.7	4.8	4.9	4.8
(アドバンスト科目)							
2017年度春学期	4.5	4.5	4.7	4.7	4.7		
2017年度秋学期	4.1	4.0	4.5	4.7	4.7		
2018年度春学期	4.5	4.4	4.4	4.5	4.6		
2018年度秋学期	4.4	4.4	4.6	4.7	4.7		
2019年度春学期	4.2	4.3	4.5	4.6	4.7		
2019年度秋学期	4.6	4.5	4.7	4.8	4.8		
2020年度春学期	4.7	4.9	4.7	4.8	4.8		
2020年度秋学期	4.6	4.7	4.6	4.6	4.8		
2021年度春学期	4.6	4.7	4.8	4.8	4.9	4.8	4.8
2021年度秋学期	4.6	4.4	4.7	4.8	4.8	4.9	4.8

③ 授業の満足度(【設問12】～【設問14】)

【設問12】～【設問14】の評価は、授業に対する評価の結論的指標となるものである。専攻全体でみると、【設問12】～【設問14】の2021年度の評点は概ね良好な結果となっている。

科目の難易度による違いをみると、【設問12】～【設問14】では、例年通り、コア科目からアドバンス科目へと、難易度が上がるにつれて、評点も緩やかだが上昇している。

最後に、この授業評価アンケートは、これまでは対面授業の最終週の授業時間内で、マークシートで実施してきたため、最終週の授業に出席していた学生はほぼ全員、回答していた。しかし、コロナ禍によりオンライン授業へと切り替わった2020年度から、授業時間外に学生個人がオンラインで回答するように変更された。

このため、最終週の授業に出席していない学生も回答できるようになった反面、授業に出席している学生が必ずしも回答してくれるとは限らなくなってしまった。オンラインアンケート実施1年目の2020年度は、全体で回答率(=回答者数/履修者数)は70%であったが、2021年度は57%に減少した。なお、コロナ禍直前の2019年度は87%であった。

これは、授業時間外にオンラインアンケートを実施することになったことで、これまで回答していた学生が回答しなくなってしまったこと、及び、何回も同じ内容の授業アンケートを回答させられることで、マンネリの状態となり、学生が回答することを止めてしまったことが考えられる。

授業評価を行うにあたり、アンケートの回答率が低いことは好ましくないため、今後は、回答率を上げるための何らかの取り組みが求められる。例えば、授業評価アンケートの実施方法を再びマークシートに戻すことは現実的ではないかもしれないが、授業時間内にスマートフォンなどで回答してもらうように変更することは可能かもしれない。

B. 教員による担当科目自己評価

2019年度から、教員の担当科目自己評価はオンラインで実施されることになり、それにともない、質問事項も大幅に変更された。設問は次のとおりである。

<選択回答>

1. 授業はシラバスに示した主題や目的に沿って行いましたか。
2. 学生が発言したり議論したりすることに十分配慮を払いましたか。
3. 個々の学生の内容理解の水準を考慮しましたか。
4. 学生の質問に丁寧に答えましたか。
5. この授業で学生の分析能力や批判力がついたと思いますか。
6. この授業はあなたにとって満足のいくものでしたか。
7. この授業は学生の仕事や資格の取得に役立つものと考えられますか。
8. この科目を担当するにあたって力を入れたことは何ですか。(複数選択可)
9. 上記1～8の回答を踏まえて、この科目を担当するにあたって当初予定していた目標は達成されたと思いますか。

回答は、【設問8】以外は、

- 5: そう思う
- 4: だいたいそう思う
- 3: どちらとも言えない
- 2: あまりそう思わない
- 1: そう思わない
- NA: 該当しない

から一つを選択する。

また、【設問8】は、

- 学生の理論的理解を促す
- 学生の思考力の向上を図る
- 学生の学習への自発性を促す
- 学習内容の理解の定着を図る

- 学生間の相互学習を促す授業運営
- 学習内容の実務への応用性
- 理論と実践のバランスを考えた授業の構成
- その他

から該当するものを選択する(複数選択可)。

<記述回答>

1. この科目において、実施してよかった点は何ですか。クラスで実施した小テストやレポートの内容、発問に対する学生の答え、学生の教員への質問などから総合してお答えください。
2. この科目において、改善・工夫をした方がよい点は何ですか。クラスで実施した小テストやレポートの内容、発問に対する学生の答え、学生の教員への質問などから総合してお答えください。

<選択回答>の回答数は次のとおりであった。

表15:教員による担当科目自己評価(2021年度)<選択回答>

(専攻全体)	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問9
5 そう思う	95	48	37	69	38	41	66	52
4 だいたいそう思う	33	49	68	47	73	78	58	69
3 どちらとも言えない	0	6	22	5	10	9	1	6
2 あまりそう思わない	0	1	0	0	0	0	0	0
1 そう思わない	0	2	0	1	0	0	0	0
NA 該当しない	0	22	1	6	7	0	3	1
合計	128	128	128	128	128	128	128	128
平均値	4.7	4.3	4.1	4.5	4.2	4.3	4.5	4.4
昨年度平均値	4.7	4.2	4.0	4.5	4.0	3.9	4.5	4.2

(コア科目)	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問9
5 そう思う	32	8	9	19	4	6	15	12
4 だいたいそう思う	13	21	21	20	34	35	29	31
3 どちらとも言えない	0	4	15	3	5	4	0	2
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
1 そう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
NA 該当しない	0	12	0	3	2	0	1	0
合計	45	45	45	45	45	45	45	45
平均値	4.7	4.1	3.9	4.4	4.0	4.0	4.3	4.2
昨年度平均値	4.6	3.7	3.6	4.2	3.7	3.5	4.3	3.9

(ベーシック科目)	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問9
5 そう思う	37	18	14	26	16	20	30	24
4 だいたいそう思う	10	17	28	16	23	24	15	20
3 どちらとも言えない	0	0	5	1	3	3	0	3
2 あまりそう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
1 そう思わない	0	2	0	1	0	0	0	0
NA 該当しない	0	10	0	3	5	0	2	0
合計	47	47	47	47	47	47	47	47
平均値	4.8	4.3	4.2	4.5	4.3	4.4	4.7	4.4
昨年度平均値	4.8	4.2	4.0	4.4	4.1	4.0	4.5	4.3

(アドバンスト科目)	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5	設問 6	設問 7	設問 9
5 そう思う	26	22	14	24	18	15	21	16
4 だいたいそう思う	10	11	19	11	16	19	14	18
3 どちらとも言えない	0	2	2	1	2	2	1	1
2 あまりそう思わない	0	1	0	0	0	0	0	0
1 そう思わない	0	0	0	0	0	0	0	0
NA 該当しない	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	36	36	36	36	36	36	36	36
平均値	4.7	4.5	4.3	4.6	4.4	4.4	4.6	4.4
昨年度平均値	4.8	4.7	4.5	4.8	4.4	4.3	4.6	4.5

設問8(選択割合)	専攻全体	コア科目	ベーシック科目	アドバンスト科目
学生の理論の理解を促す	70%	64%	81%	61%
学生の思考力の向上を図る	51%	42%	49%	64%
学生の学習への自発性を促す	55%	42%	60%	64%
学習内容の理解の定着を図る	68%	58%	81%	64%
学生間の相互学習を促す授業運営	13%	0%	17%	25%
学習内容の実務への応用性	46%	24%	51%	67%
理論と実践のバランスを考えた授業の構成	39%	27%	40%	53%
その他	0%	0%	0%	0%

オンライン授業1年目の2020年度は、特に講義形式の授業が多いコア科目やベーシック科目で教員の自己評価が低い傾向にあり、ゼミナール形式の授業が多いアドバンスト科目では例年と変わらない結果であった。

オンライン授業2年目となる2021年度は、コア科目とベーシック科目の自己評価が例年並みに持ち直した。この結果は、教員がZoomの操作に習熟したことで、講義形式の授業でも一定の品質の授業を実施できるようになったことによると考えられる。

しかし、アドバンスト科目では、2020年度よりもやや減少してしまったため、次年度ではより一層の授業の改善が望まれる。

<記述回答>では、【記述設問1】この科目において、実施してよかった点は何ですか、【記述設問2】この科目において、改善・工夫をした方がよい点は何ですか、を自由記述形式で回答してもらっている。自由記述形式なのは、教員の自由な意見を集めるためである。

各設問に対する回答の全体的な傾向を把握するために回答内容を分類し、これに基づいて分析を行っている。ただし、次のような制約、限界がある点に留意されたい。まず、分類にあたっては回答の文言よりもその趣旨に基づいているが、各設問の回答は自由記述形式であるため、その判断が主観的なものとならざるを得ない部分がある。回答が少ない項目は、表には含めていない。そして、単一の授業で非常に多くの項目を回答している場合は、特に重要と思われる2,3程度の項目に限定して集計している。

【記述設問1】担当科目において実施してよかった点

担当科目において実施してよかった点に対する回答内容の概要は、次の表のとおりである。

表16:担当科目において実施してよかった点に対する回答率

	コア科目	ベーシック科目	アドバンスト科目
小テスト・中間テスト	13%	2%	—
宿題・レポートなどの課題	27%	21%	3%
要点を得た、もしくは詳細なレジュメ・配布資料の作成	27%	9%	—
基礎知識や重要論点の確認等を踏まえた丁寧な解説・指導	13%	23%	19%
事例・実務に則した授業(ゲストスピーカーやケーススタディの工夫も含む)	9%	9%	17%
理論解説、実務解説、演習などのバランスの工夫	7%	4%	6%
テスト・課題に対する教員からのフィードバック	11%	11%	6%

学生による課題発表、プレゼンテーション、ディスカッション	—	4%	36%
教員と学生間の質疑応答といった双方向な授業の実践	22%	15%	14%
グループワーク、グループディスカッション	—	2%	—
パワーポイント等の ICT 機器の使用	11%	—	—
オンライン授業における効果的な指導法の実践	2%	2%	14%
対面授業の実施	4%	6%	—
特になし	2%	9%	3%

例年、コア科目やベーシック科目では、「小テスト・中間テスト」が非常に多い。しかし、2020 年度は、突然のオンライン授業化にともない、回答数が激減し、代わりに「宿題・レポートなどの課題」が（例年、この回答も多いのだが）例年よりも増加した。

オンライン授業2年目の今年度は、コア科目の「小テスト・中間テスト」が昨年度より増加した（2020 年度は5%→2021 年度は13%）。これは、オンライン授業においても、何らかの方法で小テストを実施する方法を見つけ出したからかもしれない。

2020 年度は、「オンライン授業における効果的な指導法の実践」を挙げる回答が多かった（コア科目 15%、ベーシック科目 16%、アドバンスト科目 12%）が、2021 年度はアドバンスト科目を除いて減少した。これは、オンライン授業の運用方法が慣れてきて安定したため、特に回答する必要がなくなったからかもしれない。

なお 2021 年度は、いくつかの授業で対面授業が再開された。「対面授業の実施」との回答はそれを反映したものである。

【記述設問 2】担当科目について改善・工夫をした方がよい点

担当科目について改善・工夫をした方がよい点に対する回答内容の概要は、次の表のとおりである。

表 17: 改善・工夫をした方がよい点に対する回答率

	コア科目	ベーシック科目	アドバンスト科目
レジュメ・テキスト・配布資料等の教材の改善	—	9%	6%
講義（解説）・演習などの時間配分	4%	—	8%
学生の能力・予備知識・理解度の差への対応	20%	9%	17%
双方向な授業の導入・双方向性を増やす取組み	—	11%	—
学生による自発的学習の促進	4%	9%	3%
授業で扱うトピックの選定、及び質と量のバランス	20%	6%	17%
演習問題や課題の内容の改善	2%	2%	6%
小テストや課題などの実施、または量の改善	4%	9%	—
オンライン授業における指導法の改善	13%	15%	17%
学生の理解度の把握	4%	—	—
対面授業が望ましい	16%	—	3%
ディスカッションやプレゼンテーションの実施	4%	6%	8%
特になし	11%	19%	19%

オンライン授業1年目の 2020 年度における、例年との違いは、「オンライン授業における指導法の改善」がすべての難易度で（コア科目 27%、ベーシック科目 19%、アドバンスト科目 15%）、そして「学生の理解度の把握」がコア科目で（コア科目 27%、ベーシック科目 5%、アドバンスト科目 0%）多かったことである。

オンライン授業2年目の 2021 年度は、特にコア科目で、これらの回答が減少した（「オンライン授業における指導法の改善」が 13%、「学生の理解度の把握」が 4%）。

2020 年度、オンライン授業化の影響は、ゼミナール形式の授業よりも講義形式の方が深刻であった。ゼミナール形式では、ディスカッションなどを通じて学生とコミュニケーションを取ることは容易で、対面授業からオンライン授業への移行はスムーズに行われた。

対照的に、講義形式では、学生とコミュニケーションをとることも、小テストなどの実施も難しいため、対面授業からオンライン授業への移行はかなりの困難を伴うものであり、オンライン授業に適した講義方法の模索が続いた。

その結果、2021 年度には多くの教員で自分なりのオンライン授業の方法を見つけ出したため、「オンライン授業における指導法の改善」や「学生の理解度の把握」を回答する教員が減少したと思われる。しかし、それで

もやはり、講義形式のコア科目においては、オンライン授業ではどうしても対面授業より効果が劣るのは否めない。そのため、コア科目においては、「対面授業が望ましい」との回答も多かった(16%)。

また、「学生の能力・予備知識・理解度の差への対応」との回答も非常に多かった。このアカウンティングスクールには、会計士を目指す学生、リカレント目的の社会人学生、留学生など、多様な出自・目的の学生が混在している。そのため、授業によっては、受講に必要な知識が不足していたり、ディスカッションについていけない学生が参加していたりすることがある。

シラバスなどを通じて履修に必要な知識や能力をアナウンスするとともに、教員による適切なフォローが求められる。

6. 今後の課題

A. 経営戦略専攻企業経営戦略コース

コロナ禍により、急遽対面授業がほぼ全面的にオンライン授業に変更になった昨年 2020 年度は学生による授業評価も多くの質問において 2019 年度を下回る結果となったが、本年度は V 字回復を見せ、全ての質問において昨年度を上回る結果となった。これは、昨年度の課題にあげた「オンライン授業に特化した FD」、「学生側のスムーズなオンライン講義への対応」、「ポストコロナを見越した新しい講義形式の確立」の3点に対する対応が功を奏したものと思われる。一方で、次年度である 2022 年度は、対面授業も開始され、また、対面とオンライン講義の両立を実現するハイブリッド/ハイフレックス形式の講義も実施される予定であり、今年度の授業評価の結果に慢心せず、以下のような対策を実施していくことが課題となるであろう。

1) ハイフレックス授業に特化した FD

ひとつの授業について、対面とオンラインの学生が同時に受講するハイフレックス形式の講義については、これまで多くの教員が経験したことのない形式のため、経験のある教員による FD の実施が効果的であろう。

2) 設備・サポート人材の充実

ハイフレックスを効果的かつ効率的に実施するためには、教室に設置された設備の充実、オンライン会議システムのソフトウェアの充実、そして複雑なシステムの利用方法をサポートする人材が必要不可欠である。予算措置が必要なため 100%を望むことはできないが、部分的にでも実現していくことが求められる。

3) オンライン講義のスキルの活用

これまでに培ってきたオンライン講義で用いてきた方法、例えば、講義の録画ビデオの公開、コンピュータの演習時の画面共有、コミュニケーションツールの活用など、これらの方法は、対面やハイフレックス講義の中でも用いることができるものであり、引き続き利用可能な体制を維持していくことが求められる。

B. 経営戦略専攻国際経営コース

2021 年度の授業満足度評価では学生、教員共に総じて高い評価が得られており、特段、喫緊の対応が求められる大きな課題は抽出できなかった。しかし、継続的な授業の質の向上という観点から、あえて課題として議論に値すると考えられる点を二つ挙げたい。

第一は、学生の嗜好に応じた授業方法の柔軟な選択の必要性である。2021 年度は徐々にハイフレックス型で授業が提供されるケースが増えた。ワクチンの普及などを背景にコロナ禍の影響が徐々に解消され、対面授業を希望する学生が増える一方で、政府の水際対策により依然として入国が許されない留学生も少なくなかったからである。しかしハイフレックス型の授業への実際の参加形態を見ると、既に入国している学生でもオンラインでの出席を選択するケースも多く、必ずしも全ての学生が対面授業を望んでいるものではない可能性が考えられた。オンラインでの授業参加を選択している学生の嗜好を（聞き取り調査などで）深く理解すると共に、教育効果や、本研究科の設置形態の観点からも議論を継続する必要がある論点であるものと考えられる。

第二に、学生による主体的な学習姿勢の維持（および強化）である。今回の評価では学生による予習や関連資料の学習に関する満足度評価に改善が観測され、他の評価項目に対して大きな遜色のない評価が得られた。昨年に引き続き、改善が見られたわけで高く評価したい。今後、徐々に対面授業の比重が高まっていくことが予想されるので、通学、グループ・ワーク等が増加し、相対的に自己学習の時間が減少する可能性が懸念される。学生による主体的な学習努力の継続は引き続き重要な課題である。

C. 会計専門職専攻

コロナ禍により突然のオンライン授業を余儀なくされた 2020 年度は、講義形式の授業が多いコア科目の授業評価に著しい悪影響をもたらした。しかし、オンライン授業2年目の 2021 年度では、教員がオンライン授業の方法に習熟したこともあり、コア科目も含めて授業評価は大きく持ち直し、全体として例年並みの評価となった。

2022 年度からは、当アカウンティングスクールでは、基本的にはすべての授業で対面授業に復帰するが、一部、特にオンライン授業の有効性が認められる授業においては、オンライン授業が継続される。また、対面授業の場合でも、Zoom による授業の録画・学生への提供は継続される。

このように、今後は、対面授業を基本としつつも、オンライン授業の利点もうまく活用しながら、学生にとっての利便性向上・教育効果の促進を図ることが求められるだろう。

また、これはコロナ禍前からの課題であったが、当アカウンティングスクールには、社会人経験のない学生、社会人学生、留学生など、多様な学生が在籍しており、授業参加前の予備知識にかなりの差が見られる。この問題へ

の対応は困難ではあるが、教員による工夫が求められる。

最後に、コロナ禍前は授業時間内にマークシートで回答してもらっていた授業評価アンケートを、授業時間外にオンラインで実施するようになったことで、回答率が低下している。この問題の解決も、至急図られるべきである。

D. 総評

今回の報告書でも例年通りに経営戦略専攻の企業経営戦略コースと国際経営コース、会計専門職専攻の3つに分けてそれぞれの問題点を指摘してもらっている。2021年度も2020年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大下での授業実施を強いられることになったが、執行部の指導の下、教職員一体となった様々な取り組みにより、大きく満足度を下げることなく授業が実施できたことは大きな成果であった。

全体としてのPDCAサイクルが緻密に確立するところまで到達するには工夫が必要であるが、一方ですぐにも手が付けられる問題があると思われる。例えば、新たに設定した設問(16, 17)を見てみると、オンライン授業への対応は、機材の拡充や教職員・学生の習熟によってどの専攻でも改善が見られている。この点は評価できることであり、また同時にさらなる改善が必要であると捉えている。具体的には、アンケート以外でも教員・学生双方へのヒアリングを通して改善点を見つけていくことが必要である。

オンライン授業を続けていくことを想定すると、学生の学力低下が起きていないかどうかの調査なども必要とされるだろう。また、授業評価の低い科目での改善努力等が望まれる。

専門職大学院では、以前にも増してビジネスの現場における高度な実践力を支える知識、理論、技能が求められている。学生インタビューの結果を見ると、専門職大学院で段階的な技能習得の連続性を確保するためには事前学習の積極的な導入が望まれており、そのためにオンデマンド教材の活用も視野に入れることも考慮される。

国際経営コースでは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が徐々に収まりハイフレックス型の講義が実施される中で、全ての学生が対面を望んでいないことも示唆されている。ハイフレックス授業において、対面授業で達成される学習成果と同等のものが得られるかどうかについては今後検証が必要である。

会計専門職専攻では、2021年度はオンライン授業で実施された科目も2022年度には対面で実施されることが多くなると考えられる。授業を録画したものや動画の教材を組み合わせることによって、より高い学習効果が得られるように専攻全体で工夫をすることが望まれる。

最後に、オンラインでの授業評価に移行してから回答率が60%台に低下していることも見逃せない。数値の信頼性を維持するためにも2022年度に改善策を講じる必要がある。加えて、本報告書の元になっている各データの活用について2022年度を通して検討をする予定である。学生へのインタビューの活用も含めて来年度の報告書の課題としたい。

以 上

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科
内部質保証委員会
コンピナー 山本 昭二